

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 29 年 8 月分（7 月 31 日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	H29. 8. 7	プロセス計算機 （プラントの運転状態 の監視・管理の補助設 備）	プロセス計算機内部の伝送路におい て、通信異常を示す警報が発生した。 当該事象発生の原因について、調査を 実施したが、原因箇所を特定するには 至らなかった。 このため、当該装置を交換し、正常な 動作を確認した。	処置済み	中 央 制 御 室
2	H29. 8. 21	高圧炉心スプレイ系設 備 （原子炉冷却材喪失時 に原子炉の冷却を行う 設備）	高圧炉心スプレイ系設備の点検時にお いて、弁の動作確認を実施したところ、 正常に動作しないことを確認した。 原因調査の結果、弁点検後の復旧作業 時に、弁のケーブルを収納しているボ ックスにケーブルが挟み込まれて被覆 が損傷したことにより、正常に動作出 来ない状態となっていた。 このことから、当該ケーブルの被覆を 補修するとともに、ケーブルの挟み込 み防止対策（複数ケーブルの固縛など） を行ったうえで復旧し、正常に動作す ることを確認した。	処置済み	原 子 炉 建 屋
3	H29. 8. 23	放水路 （主に発電所の冷却用 海水を海洋へ放出する 水路）	放水路の点検を実施したところ、コン クリート表面において、広い範囲に亘 り穿孔されていることを確認した。孔 の大きさは、最大直径 20 mm、深さ 70 mm 程度であった。 詳細調査の結果、コンクリート表面の 孔の原因は、イシマテ貝による孔食で あった。 また、孔の深さは鉄筋まで至ってい ない状況であり、放水路の強度として問 題無く、プラントの放水機能に影響が ないことを確認した。 <u>長期耐久性についても評価を行った結 果、問題無いことを確認した。</u>	<u>処置済み</u>	屋 外

- ・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み : 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み : 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

- ・今月の更新箇所は下線で示しています。